

# 一般質問発言通告書

発言順位 2 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成26年9月9日

三島市議会議長 土屋俊博様

三島市議会議員 14 番 堀江和雄



質問事項 1	これからの公共交通について
具体的内容	
<p>オンデマンド交通に関する質問から2年半、当時はあまり注目をされていませんでしたが、短期間の間に全国で様々な公共交通への取り組みが行われ効果を出しています。</p> <p>三島市内でも地域が主体となり、成果を出している見晴台自治会の取り組みが注目されています。高齢による免許返納、生活スタイルの変化にともなう移動手段の変化、世帯の人数の変化による暮らし方も変わり、公共交通に対するニーズも多様化してきました。高齢者世帯も増える中、交通弱者等の足の確保等、これからの公共交通について伺います。</p>	
1. 市民意識調査の結果と市内運行バスの利用実績について。	
① アンケートで見えてくると地域からの要望は何か。	
② 自主運行バスを含むバス路線ごとの利用者数及び、経費実績（運行経費・利用者1人当りの費用・運賃収入・補助金等）をどのように把握・分析しているか。	
③ これまでにルート変更・停車位置の変更・追加・利用者増加のために改善した点は。	
2. 高齢者免許返納事業との関連について	
① これまでに免許返納された人数と返納された方のその後の移動手段はどのように変わっていると認識しているか。	
② 返納された方からのその後の聞き取り調査、要望はどうか。	
3. 見晴台自治会の自主運行バスの取り組みについて。	
① 見晴台自治会と運行バスのしくみとこれまでの経緯について	
② 中部陸運局からの表彰をされる予定と聞いているが、その優れている点は何か。	
③ 見晴台自治会の取り組みを自治会・町内会に情報発信し、活用してはどうか。	
4. これからの地域包括ケアシステムとの関わりについて	
高齢者の自立支援・介護予防のためにも、様々なかたちの公共交通の充実は欠かせないと考えるが、庁内連携などこれからの取り組みについて伺う。	
5. これからの公共交通のありかたについて	
① 市内自主運行バス等の聞き取り調査を、高等教育機関への評価委託してはどうか。	
② 市民の望む公共交通のかたちをどのように考えるか。	
③ 運転手意見、利用者ヒアリングなど利用者増加に向け路線変更、運行時間の見直しなどどのように工夫していくのか。	
④ バスの現在位置・空席情報がわかる運行バスのアプリの活用も可能になると思うが。	
⑤ 市民が主体となり、行政が後押しをするかたちの公共交通（市街地巡回バス・郊外対策型バス）について、どのように考えているか。	